

## 熊本市大腸がん検診のご案内

### 検診の対象者

年度内に40歳以上になる方

※熊本市のがん検診は、市内に住居票があり、職場等で大腸がん検診を受ける機会のない方が対象で、1年に1回受けることができます。

### 検診の内容

問診・便潜血検査

### 検診の場所

#### ●検診実施医療機関(指定医療機関)

熊本市内で、特定健康診査を実施しているほとんどの医療機関で、大腸がん検診を実施しています。

#### ●巡回検診会場(各地域の公民館や集会所等)

熊本市では、4月～翌年2月までの期間、肺がん検診車が各地域の公民館や集会所等を巡回しています。肺がん検診会場で、大腸がん検診の受付(大腸がん検査キットの配布)をあわせて行っています。

巡回検診の日程及び会場については、毎月の市政だよりに掲載しておりますので、お近くの会場で大腸がん検診をお申し込みください。

### 検診料(自己負担金)

検診実施医療機関で  
受診の場合 **500円**

巡回検診会場で  
受診の場合 **300円**

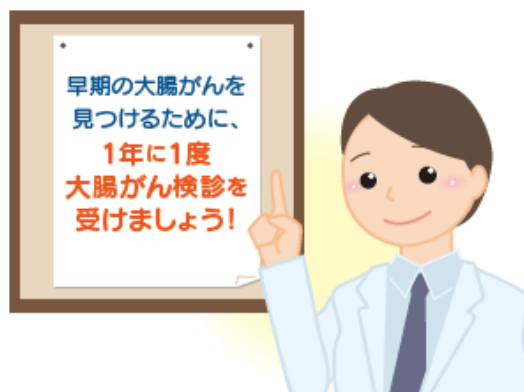
### 検診に必要なもの

保険証など氏名・住所・生年月日がわかるもの  
(「熊本市がん検診」では、受診券の発行はしていません。身分証明書を検診窓口で提示してください。)

※生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書を提示することにより、自己負担金が免除となります。

## 早期の大腸がんで発見すれば、 負担が少ない内視鏡での 手術が可能です。

平成26年度に熊本市が行った大腸がん検診で約50人の方に大腸がんが見つかっています。便潜血検査による大腸がん検診は、大腸がんの死亡を減少させる十分な科学的根拠がある検査として認められています。



◎「要精密検査」(便潜血検査陽性)になった場合は、その原因を明らかにするため、必ず大腸内視鏡検査などの精密検査を受けましょう。

大腸がん検診についてさらに詳しい情報や  
その他のがん検診についてはこちらから



がん検診の  
お問い合わせ **熊本市健康づくり推進課**  
TEL: (096)361-2145

E-mail [kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp](mailto:kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp)  
熊本市ホームページ <http://www.city.kumamoto.jp/>  
※市ホームページより「がん検診のご案内」で検索してください。

パンフレット作成協力: アフラック、日本生命保険相互会社熊本支社、  
一般財団法人熊本市勤労者福祉センター、一般財団法人熊本市社会教育振興事業団、西部ガス株式会社熊本支社、熊本保健科学大学

## 大切な人のために！ 自分自身のために！ 大腸がん検診を 受けましょう！



### 早期発見・早期治療が重要です！

大腸がんは早期発見できれば9割以上完治する病です。しかし、大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がありません。大腸がん早期発見のため、毎年定期的に大腸がん検診を受診しましょう。

### 大腸がん危険度チェック

次の項目にあてはまる人は、大腸がんにかかる可能性が高いといわれています。

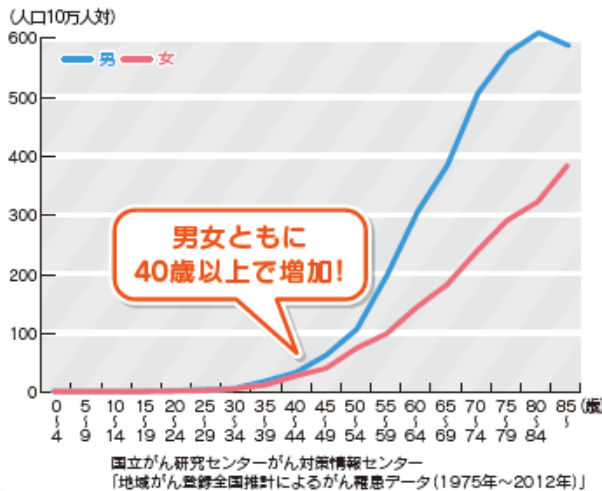
- 肥満である
- お酒をよく飲む
- 加工肉(ベーコン、ハムなど)をよく食べる
- たばこを吸う
- 40歳以上である
- 直系の親族に大腸がんにかかった人がいる
- 運動不足である

## 大腸がんってどんな病気？

大腸は、およそ2mの長さがあり、大腸がんは、大腸の粘膜細胞ががん化したものです。大腸がんは初期症状が出にくく、自覚症状はある程度進行してから出ることが多いと言われています。便に血が混じる、便が細くなる、便が残ってスッキリしない、腹痛、下痢と便秘の繰り返しなど、便通に関する症状が多く見られます。また、がんのできた位置によっては、痛みやしこり、おなかの張った感じがすることもあります。



## 年齢階級別大腸がん罹患率(2012年)



## 大腸がん検診って何をするの？

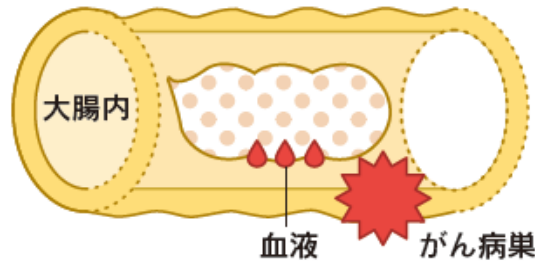
大腸がん検診では、問診と便潜血検査(2日法)を行います。

便潜血検査、いわゆる検便では、便に混じった大腸からの出血を調べます。

便を採取し、提出するだけの簡単な検査で、便に付着した目には見えない微量な血液でも調べることができます。

食事制限等も必要ありません。

便潜血検査の結果が**陽性になった場合**は、その原因を明らかにするために、必ず大腸内視鏡検査など**精密検査を受診しましょう。**



## 受診者の声

毎年受診しており、便潜血検査である熊本市大腸がん検診は安心で安心を得られ助かっている。まだまだ家族のために元気でいなくてはならないため、今後も検診を受け続けたい。

(50代男性)

地域を巡回する肺がん検診の集団検診会場で、大腸がん検診も受診できるので簡単に手紙に受診できるため利用した。早期にがんを見つけるため、今後も利用していきたい。

(60代女性)

市政だよりや口覧板で検診のお知らせがあり、近所の人と一緒に検診を利用している。

もともと健康に自信があり、自分には関係ないと思っていたが、簡単な検査で安心を得られるので今後も続けたい。

(50代女性)

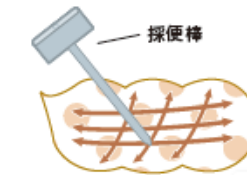


## 便潜血検査の方法

### ①検査キットを受け取ります。

指定医療機関や集団検診の会場で大腸がん検査キットを受け取ります。

### ②自宅で便を採取します。



検査精度を高めるため、採便棒を使って、便の表面のいろいろなところをまんべんなくこすり取るようにします。

1日目 2日目



こすりとった棒はケースに入れ冷蔵庫で保管します。

※密閉された容器のため、汚染の心配はありません。

※2日分採取します。

### ③検査キットを提出します。

指定された場所に採取した便を提出します。

### ④結果を確認します。

検診の結果は約4週間後に郵送でお知らせします。

